

令和5年10月2日（月）

# 魚沼きこえの教室だより

令和5年度 第5号

長岡聾学校小出分教室（小出特別支援学校内）

きこえの教室 担当：高橋 登

〒946-0035 魚沼市十日町 1738-2

TEL:025-792-5462 fax:025-792-5465

mail:takahashi.noboru@nein.ed.jp

## 片耳難聴

「みんなと同じく行動できているから大丈夫」

で済ませていませんか？

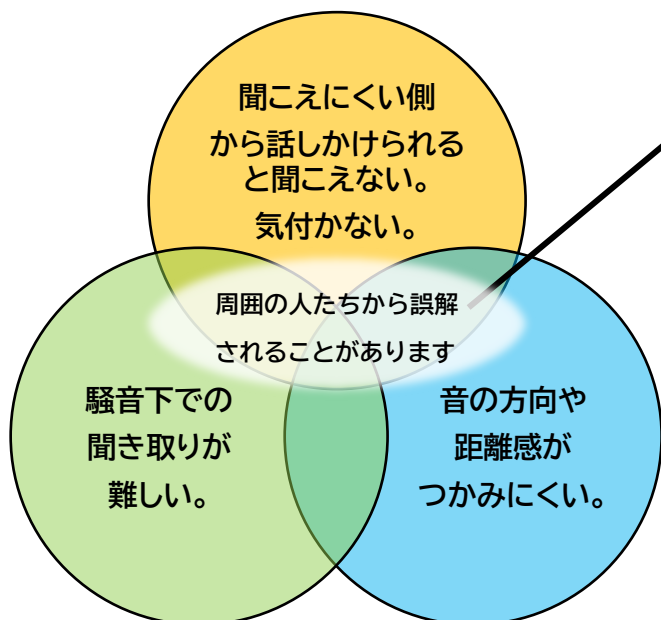


### ○片耳難聴（一側性難聴）とは

片耳難聴とは、左右どちらかの耳が聞こえない、もしくは聞こえにくい状態のことを言います。片方の耳が正常に聞こえていれば問題ないと思われそうですが、音の世界は片方聞こえていれば良いという単純なものではありません。個人にもよりますが、強い不自由さを感じ、悩んでいる人もいます。

以前は、就学時の健康診断や小学校での聴力測定などで発見されること多かったのですが、最近は新生児聴覚スクリーニングの普及により、早期に発見されることが増えてきました。

### ▲片耳難聴（一側性難聴）の不便



### ▲よくある誤解（人間関係に影響すること）

- ・聞こえないふりしてるの？
- ・無視しないで！
- ・何回も呼んでよ！

### 片耳難聴（一側性難聴）の配慮

- ・聞こえる側の耳を考慮した座席にする。
- ・教室の騒音をできるだけ減らす。
- ・顔が見える位置で話す。（聞こえる側から話す）
- ・初めて話す言葉は、口頭だけでなく文字でも提示する。

片耳難聴の方は、医療機関等で定期的な聴力測定をしてもらうことをお勧めします。よく聞こえる側の聴力に変動がないかどうか確認することが大切です。

小出分教室のきこえの教室では、今年度7名の片耳難聴の小中学生が定期的に学習しています。聴力測定や学校生活でのきこえの様子、合理的配慮などについて確認しています。

## 身近にある難聴 ② 「ヘッドホン(イヤホン)難聴」<sup>なんぢょう</sup>

ヘッドホン難聴は、ヘッドホンやイヤホンを使って大音量で音楽などを聞き続けることにより、音を伝える役割をしている有毛細胞が徐々に壊れて起こる難聴です。ヘッドホン難聴は、じわじわと進行し、少しずつ両方の耳の聞こえが悪くなっていくため、本人が難聴を自覚しにくいことが特徴です。耳閉感や耳鳴りを伴う場合もあります。重症化すると聴力の回復は難しくなるので、耳の違和感に気づいたら早めに医療機関を受診することが大切です。 [e-ヘルスネット（厚生労働省）](#)より